

【小中学部】4月新入塾生募集中です。

文理学院では2018年度の授業を3月初旬より開始し、春期講習もいよいよ始まりましたね。塾生・講習生のみなさん！新しい先生、新しいテキスト、新しい仲間……。とても新鮮な雰囲気の中で、気持ちも新たに勉学に励んでいることと思います。今の気持ちを忘れずに、4月から始まる各小・中学校での新学年の授業にも「文理生としての自覚と誇りをもって」臨んでほしいと思います。

さて、文理学院では4月新入塾生を募集しています。「先んずれば人を制す」の言葉どおり、早期からの準備がテストや受験での成功の第一歩であると思います。これから大きな目標を掲げて、文理で一緒にがんばっていきましょう！！

山梨県内 小中学部4月授業開始日

郡内地区 4月5日(木)

甲府地区 4月6日(金)より各学年順次開始!

静岡県内 小中学部4月授業開始日

4月4日(水)より各学年順次開始!

JES(ジョイフル・イングリッシュ・スクール)4月授業開始日

4月4日(水)より各地区順次開始!

4月入塾は入学金無料

心より「合格」おめでとうございます!

この3月、山梨県・静岡県の公立高校合格発表があり、文理学院塾生からの合格者が全て出揃いました。合格したみなさん、本当に心よりおめでとうございます。みなさんの努力が結実した瞬間に私たちも立ち会えることができたことを嬉しく、また誇りに感じます。進学先でも文理学院小中学部卒業生らしく精一杯努力を重ね、活躍してもらいたいと思います。本当におめでとうございます!!

文理学院 教師・スタッフ一同

静岡県 公立高校合格者数

富士112名

(うち理数科12名)

3年連続で100名突破!特に理数科定員の30%の12名が文理学院から合格しました!

国立高専 17名	静岡市立 18名
富士東 81名	静岡城北 20名
富士宮西 55名	沼津東 26名
吉原 53名	菫山 5名
富士宮北 37名	三島北 9名
静岡 13名	御殿場南 37名
清水東 11名	
静岡東 22名	など多数合格

高等予備校より(3/12時点途中経過)

東大4名

京都大 1名
大阪大 2名
名古屋大 4名
北海道大 7名

静岡大 19名	山梨大 13名
信州大 10名	山梨大 8名
早稲田大 7名	東京理科大 14名
慶應義塾大 6名	日東駒専 53名
MARCHG 47名	など多数合格

山梨県 公立高校合格者数

吉田(理)19名

(22年連続No.1!)

郡内地区での合格実績は圧倒的に文理がNo.1です!甲府地区の合格実績も年々伸びています!

吉田(普) 74名	都留(普) 61名
富士河口湖 47名	甲府南(理) 6名
甲府南(普) 42名	甲府東(理) 6名
甲府東(普) 17名	甲府一(探) 8名
	など多数合格

就職活動解禁に寄せて

3月1日より来年へ向けた学生の就職活動が解禁されました。

私も甲府市と沼津市、静岡市で開催された「就職セミナー」に参加させていただき、学生たちに企業説明や職業観などをお話しさせていただきましたが、その時にふと感じたことがありましたので、「採用する側の目線」で書いておきたいと思います。

第一印象で「採用したい」と率直に感じる学生には、ある共通点があります。1つ目は「身なり」(身嗜み)です。やはり、TPO(時間、場所、場合)に応じた身嗜みというのは、特に重要な行事の時には大切になってきます。2つ目は「目線」です。しっかりと目を合わせ話ができる学生にはよい印象を持ちます。3つ目は「姿勢」です。立ち方、座り方だけではなく、話を聞く姿勢、話をするときの姿勢、帰り際の姿勢など、採用担当としては学生の一举手一投足に目がいくわけです。「第一印象で90%が判断される」と言われることもありますから、大切な場で人と会う場合は、以上の3点には気を配ってほしいものです。

しかし、どこの企業でも同じですが残念ながら採用した社員が入社後に期待通り(またはそれ以上)の活躍をしてくれるかと言えば、決してそうではありません。社会人となり、ある程度活躍できる人にはやはり共通点があるように思います。その1つに「やり抜く力」があります。それも、「ものごとを成功させるため、途中経過でいくつもの修正を加えながら、やり通せる人物」がどの業種においても活躍できる人に共通する部分であります。それは突き詰めていくと「よい意味での日本人独特の気質」にも通じることに思えるのです。

文理学院に通う塾生たちには、是非ともこのような気質・態度を「学業」を通して身につけてほしいと思います。大切なことは、「苦手科目があっても諦めず、工夫・修正を加えながらやり抜き、少しずつでもできるようにしていくこと」です。そのことが本物の実力、本当の自信に繋がり、人間的な成長にも大きく繋がっていきます。延いては社会で活躍できる人間に成長していけるのだと思うのです。【勤】

校舎長紹介シリーズ 第3弾

校舎長は地域の顔、文理の看板教師です。

今回はこの3月から新任・異動で校舎長になる先生たちを紹介しましょう。フレッシュ！??な顔ぶれですよ！！



都留本部校（都留市）

小澤 理

都留のみなさん、こんにちは。わたくしも都留出身でして、子どもの頃は柳田橋の側にあった文理学院に通っていました。その自分の母校でもある文理に入社して15年間、高校入試激戦区である下吉田校に勤務してきました。東京大学合格者も輩出するような校舎だったのですが、そこで培ったノウハウをこれからは都留地区の子どもたちのために思う存分に発揮したいと思います。「都留の子どもたちの学力を上げたい」という気持ちは強く、念願かなっての都留校舎配属となります。地域のみなさんのご理解とご協力をいただけたら幸いです。



富士宮西校（富士宮市）

田中 穂高

受験生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、富士宮市民のみなさん、こんにちは！これからよろしくお願ひします！！私が大切にしていることは感謝の気持ちです。仕事ができることも、みんなが塾で勉強できるのも誰かのおかげなのです。生徒のみんなにも感謝の気持ちを大切に、勉強だけでなく人間的にも大きく成長してもらいたいと考えております。今まで以上に元気で地域に活力を与えられるようにこれからも一生懸命汗をかかせて頂きます。生徒の応援団長として、これからもよろしくお願ひいたします。



昭和校（中巨摩郡昭和町）

青野 芳孝

12年ぶりに甲府地区の校舎を担当することになりました青野芳孝（よしとか）です。よろしくお願ひします。私は「塾生の成績を絶対に上げる」、「塾生を志望校に絶対に合格させる」という熱い気持ちは誰にも負けません！生徒、保護者の皆様に「文理学院で人生が変わった」との評価をいただけるよう、学力・成績だけではなく、人間的にも成長できる学習塾の運営を心がけ、常に高みを目指して指導していきたいと思ひます。



御殿場校（御殿場市）

佐藤 豊基

新年度から御殿場校舎を担当することになりました佐藤豊基（あつき）です。これまでは甲府地区の「昭和校」を開校してから5年間、校舎長として担当してきました。H30年春には甲府地区最難関高校である甲府南高校理数科への合格者を輩出することもでき、責任者としての更なる自信に繋がりました。御殿場校では「明るく・楽しく・わかりやすい授業」と生徒と保護者の方に様々な面で「文理に通って良かった」と思っただけのように全力で取り組んでいきます。



大月校（大月市）

渡辺 健

新年度から大月校舎を担当することになりました“渡辺健”（けん）と申します。昨年は都留本部校の校舎長を担当し、吉田高校理数科をはじめ、生徒全員が志望校へ合格することが出来ました。文理学院に入社してから、複数の校舎を担当してきましたので、その経験を大月校舎で十分発揮していきたいと思ひます。大月校舎に通塾している生徒、そして保護者の皆様の想いに必ず応えていきますので、安心して大月校舎の渡辺健にお任せ下さい！！



吉原校（富士市）

森 敬之

この3月から吉原校を担当する森敬之（たかゆき）です。吉原校が文理学院での4校目の担当となります。山梨では、文理学院本社の都留本部校をはじめ、2校舎の校舎長を計11年間担当し、その後3年間、富士宮西校の校舎長を担当しました。H28年春には富士高校に26名の合格者を輩出することもでき、吉原校ではこれまでの経験を十分に活かし、生徒・保護者の皆様の目標・願ひにお応えできるよう、志望校合格・学力向上へ全力で取り組んでいきます。



下吉田校（富士吉田市）

渡辺 大輔

新年度から下吉田校を担当する渡辺大輔です。下吉田はかつて5年間ほど校舎長を務めていましたので、二度目の赴任となります。その時が私にとって初めての校舎長就任でしたので、私自身の中で非常に大きな思い出となっており、現在に至る原点は下吉田にあったと思っしております。そんな下吉田の地域・通ってくれている生徒・保護者のみなさんに全力で貢献できるよう努めていきたいと思っしております。

★各校舎の「ブログ」も是非ご覧ください！★



QRコードを読み取って
校舎ブログを覗いてみてね！

【小中学部】4月通常授業

4/4(水)より随時スタート！

4月入塾は入学金無料

「わかった、できた、覚えた！！」の感動を毎日。